

株式会社ジェイコム北関東 川越局 2017 年度放送番組審議会 議事録

【日 時】 2018 年 3 月 26 日(月) 午後 3 時 00 分～5 時 00 分

【場 所】 ジェイコム北関東 川越局 会議室

<放送番組審議会委員> (五十音順)

ご出席

能 瀬 さち子 様 林 成 一 様
宮 崎 晃 一 様 横 田 等 様

ご欠席

飯 村 章 様

事業者側から現況報告及び J:COM チャンネルの取り組みについて報告があった。

【審議 質疑応答】(宮崎議長による進行)

■『デイリーニュース』について

(議長)

『デイリーニュース』について各委員よりご意見、ご要望を頂きたい

17:00～の生放送は、なかなか見ることはできないが再放送、ど・ろーかるアプリでも視聴ができる。

デイリーニュースでは市民に直接インタビューする形がとてもいい。

(委員)

10 年前に比べると取材数が格段に多くなってきている。そんな中、自分が取材を受けたものは近所のお年寄りが番組を見ていて声をかけられることがある。番組を見ている方が多いと実感する。

(委員)

良い番組をたくさん放送している。もっと PR して多くの方に見てもらう方が良い。

坂戸市役所内モニターについて、市議会中継時は映しているが普段は消している(CM が放映されるため)

許されるのであれば、良い番組なので CM をカットして放映できないか。

(制作担当)

最先端技術の展示会等では CM カットの製品が参考出品されているが、弊社では導入して

いない。

(委員)

鶴ヶ島市について、取材された場合広報が行政の SNS を使ってデイリーニュースの情報(放送時間や取材された内容)を発信している。J:COM のチャンネル内の PR だけでは限界がある。いろいろなチャンネル(媒体)を使って PR する事が大切だと思う。

(議長)

こんなに地域密着で良い番組を放送しているのに、なかなか市民に見て頂くチャンスが無い。もっと知っていただくために例えば行政のチャンネル(SNS 等)を使うのも一つの手だと思う。行政のもっている広報ツールをうまく使っていくことも必要ではないか。

公官庁にて放映しているものは CM が入っているのでそのままは放映できないが、編集したものを放映できないか。

(局長)

年末に各市長へ挨拶と併せて DVD(1 年間の取材を省みた内容)を納めた。

行政によってはその DVD を庁舎のロビーで放映したケースもあった。

(委員)

地域によってはまったく J:COM を見るできないエリアがある。

(局長)

集合住宅は多くの世帯で見ることができるが、戸建はサービスに契約して頂かないと見ることができない。

まだまだ営業努力が足りないので拡大していく。

(制作担当)

ど・ろーかるアプリを使用していただくと、エリアに関係なくデイリーニュースを視聴することができる。(過去 1 週間分) アプリを周知していくためにプロモーションを進めていく。

(委員)

PR も、ど・ローカルでいいのではないか。例えば『地域のここがでるよ』という PR をすれば、見たいという人が増える。

(局長)

ご自身や親近者が番組に出演すると高い確率で見えて頂ける。1 回見えて頂けると視聴習慣が付き、次へ繋がっていく。なるべく多くの市民の方に出演して頂き、口コミ拡散でも多くの視聴習慣が付くよう努力していく。

■『ちよっ蔵お出かけ！まちかど情報局』について

(議長)

地元の間人も知らなかった情報を多く扱ってくれる。

地域の方たちが出かけたくくなるようなコンテンツもあれば、MC 二人の足跡をたどる楽しみもある。長年人気の番組である。

紹介するお店のセレクト(スタッフの選択)も良いと感じる。

2018年4月からは月/2回更新となることが少し残念。

(委員)

今回は何故、女性のMCに得々とバク転をさせるのか？

それよりもっとお子さんを盛り立てるような内容の方がよかったのではないか？

(委員)

川越地区の街の移り変わりの速さに番組取材が追随し、常に新しい情報を扱っていてありがたい。

男性MCの落語家が真打になり芸名が変わったが、いつ対応するのか？

(制作担当)

地域に名が定着しているので暫くする予定はない。

(議長)

何故MCがバク転というお話があったが、たまには二人の新しい魅力を打ち出していくのもいいかと感じた。

(委員)

良い番組だから全国ネット(J:テレ)しても良いかと感じた。

(議長)

何かに挑戦、街ぶらり、お店紹介などあるが何か新しいものに取り組む方針はあるのか？

(制作担当)

二人が新しいことに挑戦することによって、地域にこんなことが体験できる場所があると提案し、視聴者が楽しめる番組づくりにしている。

今まで食べ物での紹介はしてきたが、敢えて体験型としている。

(委員)

NHKは同じ題材でも違う視点から紹介しているが、同じものを扱うにしても違う視点で番組を作るのはどうか。

(議長)

番組更新頻度は少なくなるが、MC二人が新しいものへ挑戦していろいろな情報を発信してくれれば良いと思う。

■『わくわく1年生』について

(議長)

番組のコンセプトがとてもいい。

出演した子供たちが大人になった際の財産と言える。

放送 2 年目に入るが、今のところ川越市内だけなのか？

(制作担当)

現在扱っているのは川越市だが、坂戸市へ提案中。

(委員)

出演において不公平差はでてこないか。

抽出方法はどのようにしているのか。

(制作担当)

川越には 32 の公立小学校があるが、その全ての小学校に出演交渉した。

坂戸に関しては校長先生が承諾されたところから始める予定である。

川越局エリアの全小学校は、一度に依頼をすると収集がつかなくなる恐れがあるため、順番に依頼をしていく。

(議長)

学校へ取材依頼し、断ってくる学校は実際にあるのか。

(制作担当)

昨年度は 3 校、本年度は 0 校であった。

(議長)

出演自体を断られる児童がいると思うが、対応はどのようにしているのか。

(制作担当)

カメラには写さない全員で合唱の際は、声だけ収録するなどの対応としている。

ケースによるが、集合撮影は OK、個別撮影は不可という場合もある。

(議長)

行政が出す学校の写真でも、学校側との交渉が大変なのにこの番組は難しい交渉を経てよくやっていると感じた。

卒業式や成人式でこの番組を映すニーズはあるはずだが、実際に番組の貸出等をおこなっているのか。

(制作担当)

年度末に教育委員会へ DVD 一式を納める形としている。学校へも納めている。

(議長)

更新頻度をおしえてほしい。

(制作担当)

週/更新としている

リピートは日/3 回

埼玉メディアセンターとしては、さいたま局/川越局エリアが各々制作・放送している。

今後はエリアを広げていく予定である。

(議長)

この番組は地域密着型でケーブルテレビならではの番組だと感じる。
一人の児童の時間を切り取って保存してくれるとても大切な番組だと思う。

(制作担当)

この番組は千葉メディアセンターで20年以上の実績がある。

(委員)

千葉メディアセンターで長年培ってきたノウハウを是非埼玉でも取り入れて制作してもらいたい。

(議長:まとめ)

大手の民放とは違い、地域の我々に直接かかわりのあるチャンネルである。
地域で話したくなるようなコンテンツを続けてくれることがケーブルテレビの【進化】に繋がっていきと思われる。
また、今後切り口の違った川越発歴史探訪のような番組制作もおもしろいかと思われる。

4. 閉会(事務局)

定刻となったため本会を終了する。

以上